

### 広報いんざい市長室

山崎山洋



去る3月11日に発生した、東日本大震災から早くも1カ月が過ぎましたが、東北地方沿岸部を中心にまだ15万人にもおよぶみなさんが厳しい避難所生活を余儀なくされています。

さらに福島第一原子力発電所の事故は、広範囲におよぶ地域住民に避難生活を強い、農畜産物や海産物などは風評被害を受けています。

市内では、液状化による家屋の全壊をはじめ、建物の一部損壊・屋根瓦や外壁の落下、ブロック塀の崩壊など多数の被害がありました。被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。住宅が全壊した世帯や大規模半壊した世帯などには、被災者生活再建支援法に基づき支援金が支給されますので、市役所の社会福祉課にご相談ください。また、市では、3月の市議会で2億円余りの災害復旧費の増額補正を行い、道路や公共施設の早急な復旧を図ります。

このたびの大震災は、甚大な被害や影響を及ぼし、心痛む毎日が続いていますが、その反面、多くの温かい支援の心が全国に広がり、復興へ向けて動き出しています。当市でも、多くみなさんから義援金や救援物資のご提供をいただきました。また、総合福祉センターでは、福島県からの避難者に対して、ボランティアのみなさんが毎日炊き出しなどの支援を行っています。先日4月9日には、ロシアの歌姫工カテリーナさんによる日露友好震災支援コンサートが行われ、その澄んだすばらしい歌声は、避難者の方々をはじめ多くの聴衆に力を与えてくださいました。支援にご協力いただいたみなさんに、お礼を申し上げます。

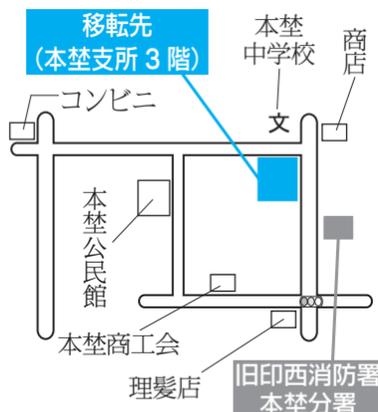
いまだ大きな余震が続き予断を許さない状況ですが、被災地の一日も早い復興へ向けて、節電に努め、風評に惑わされず、一人ひとり冷静な行動をお願いします。

## 印西消防署 本笠分署が移転しました

印西消防署本笠分署（印西市笠神 428）は庁舎の老朽化、耐震性不足のところ、この度の震災により被害が発生しました。

このため、4月14日(木)から、印西市本笠支所（印西市笠神 2587）3階へ移転しました。

印西消防署本笠分署 ☎0119。



### JICA シニア海外ボランティア

## 村上信直氏（高花）がモンゴルへ派遣

開発途上国の発展の支援を主な目的とする「JICA ボランティア」。

村上氏は、そのシニア海外ボランティアとして、今年3月から2年間、海外へ派遣され、活動を行います。

「定年後は社会貢献をしたいと思い、国外に目を向けた」と語る村上氏。建築材料の開発に携わっていたその手腕を生かし、



▲出発前に来庁し、山崎山洋市長（左）と現地の活動について語り合う村上氏



派遣先のモンゴルでは、建設資材の研究所で、現地研究員のサポートを行う予定です。

村上氏は「自分が身につけた技術の集大成を伝えていきたい」と意気込みを語りました。

## 市内に滞在する 避難者情報提供のお願い

市では、東日本大震災の避難者を支援するため、市内に滞在する避難者の状況を把握し、情報提供などにより必要な支援をしています。市から情報提供を受けていない避難者のみの方は、左記までご連絡ください。

## 有害鳥獣被害防止対策協議会が設立されました

市では、鳥獣による農作物などの被害を迅速に、また、地域の实情に即し適切に防止するため、印西市鳥獣被害防止計画を策定。有害鳥獣被害防止対策協議会を3月22日に設立しました。有害鳥獣による総合的な被害対策を円滑・適正に実施するため、警察署など関係団体との情報共有および協力体制を強化し、農作物の被害防止や市民の安全対策を推進していくことを目的としています。

## 環境家計簿をつけて、環境にも、家計にもやさしい生活を

※裏面が平成23年度の環境家計簿になっています。切り取ってご利用ください



わたしたちは、さまざまなエネルギーを使って便利で豊かに暮らす一方で、地球温暖化の一番の原因となっているCO2（二酸化炭素）を大量に排出しています。環境省の報告によると、平成18年度の家計から排出されているCO2排出量は、12億7,400万tの約14%に及び、1世帯（平均2.5人）あたりでは約5,200kg排出しています。

印西市においては、平成22年度印西市環境家計簿に参加した1世帯

（平均2.8人）当たりの平均CO2排出量は4,492kgとなっています。

この環境家計簿は、それぞれの家庭で、どのくらいCO2を排出しているのかチェックすることができます。日ごろの生活を見直し、環境にやさしい行動を実践することで、CO2の排出を減らしていきましょう。

### 環境家計簿（我が家のエネルギーとCO2排出量）の記入方法

環境家計簿（我が家のエネルギーとCO2排出量）は、各月のエネルギーなど使用量を記入することで、CO2排出量が算出できるようになっています。

\*使用量に排出係数を掛け算して、CO2排出量欄に記入してください。この合計があなたのご家庭から排出されている二酸化炭素の量です。

\*排出係数は、電気0.384、都市ガス2.23、プロパ

ンガス6.6、水道0.36、ガソリン2.32、軽油2.58、灯油2.49です。

(注)電気、軽油は「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条(平成20年6月13日一部改正)」より、そのほかのエネルギーは「Ecocho2実践編エネルギーチェック(環境省発行)」の排出係数を使用しています。

Table showing electricity usage (131kWh) and gas usage (21 cubic meters) with associated costs.

Table showing water usage (23 cubic meters) and associated costs.

### 平成22年度分の環境家計簿を回収

市では、昨年に広報でお配りした「環境家計簿」の回収を5月1日(日)～5月31日(火)の1カ月間、下記窓口、各支所・出張所・公民館に設置する回収ボックスで行います。また、FAX・Eメールでの送信もできますので、ご協力をお願いします。回収にご協力いただいた家庭には、後日エコ診断表およびエコバックをお送りします。

環境保全課環境保全班 ☎内線 364・FAX 5339・Eメール kankyoka@ml.city.inzai.chiba.jp。

#### 環境家計簿の使用方法について



毎月記入しましょう。1年間記入し終えたら、市役所に提出しましょう。

提出した人に、「エコ診断表」と「エコバック」を差し上げます。



環境家計簿の参加者は、年々増えています。